



きたがわ 北川 かつよし 議員

私の好きな言葉は「地道」です

問 ペットの避難について町の考えは

町長 飼い主の責任による避難を促す

同行避難と同伴避難

問 ペットの避難について町の考えは。

町長 環境省ではペットは家族の一員であるのみならず放浪動物による人への危害防止や生活環境保全の観点からペットの同行避難を推奨している。

同行避難とは、飼い主とペットが避難所まで同行して避難することを指し、飼い主による安全の確保と責任が大前提である。

避難後は避難所を運営する住民と協議、協力し、敷地の一部を飼育専用スペースとする。

同伴避難とは、避難所においても一緒の間で過ごすことができることを指す。

避難所でアレルギーのある方がいたり、臭いや鳴き声、ペットに危害を加えられるという不安やトラブルなど実際の被災地避難所での多くの問題が発生しており、実現は難しい。

問 同行避難について日ごろの備えなど町民への周知は。

町長 避難訓練や環境整備を検討しながら、周知をしていく。

地震時の上下水道

問 能登半島地震と同規模の地震が本町で発生した場合、町の上下水道への影響と対策は。

町長 本町にはプレート境界の活断層はなく、今回のような直下型地震の発生は低いと想定している。

地震時の被災軽減対策として基幹管路の耐震化・老朽管の更新による耐震管への切替えを継続し、強靱化を進めていく。

災害対策の強化点
問 冬期の感染症対策やトイレ設置など、強化しなければならぬ町の考えは。

しく悪化し、流水で手洗いができなくノロウイルスなどの集団感染のリスクが高まった。また、高齢者に多く見られたのがトイレを我慢するあまり水分や食事を摂取することを控え、脱水症状やエコノミークラス症候群を発症したことだ。

上下水道が停止したことにより、トイレが使えなく、さまざまな問題が起こった。水がないことから、清掃ができない、し尿がたまるなど、衛生環境が著

検証を踏まえながら、本町でも給水体制の確立や生活用水の確保を再確認し、関連資機材や備蓄品の整備を検討する。



北川議員の一般質問を視聴できます